



2022年度 事例研究より

家族も笑顔になる 支援を

例年きらめきにて取り組んでいる事例研究から、ケアマネジャーが関わり、ご本人、ご家族、そして私たち職員との関係も良好になっていった例のご紹介です。

ケアマネジャーとは介護が必要なご本人やそのご家族の相談を受け、身体や生活環境に応じた介護サービスが受けられるようご本人と介護事業所や市町村などをつなぐ専門職です。

ご紹介例

長年自分の部屋に閉じこもっていた アルツハイマー型認知症・Aさんの事例

同居ご家族との交流もほとんどなく、ベッドの上で過ごされていたAさん。人を部屋に入れることや寒さが苦手で、排泄介助も拒んでいました。また長年の閉じこもりにより足が弱っていたこともあり、当初トイレに行くための動作を回復することに着目したケアプランを立てていました。

この事例研究をきっかけに、①身体や心の状態、②本人の気持ち、③生活環境、④ご家族との関係性など、Aさんを取り巻く環境にも視点を広げ情報を集め直し、複数のケアマネジャーで再度Aさんの課題を分析しました。

その結果、Aさんが水分不足であることや、常にキレイな自分でいたいこと、また、ご家族に感謝の気持ちを持っていることや、自分の言葉ではっきりと意思を伝えることができる方だということが新たに分かりました。

ケアマネジャーはケアプランを立てますが、直接、介護をする訳ではありません。そのため、各介護サービススタッフにサービス提供をお願いし、ご家族にもケアプランに沿った内容で協力を依頼しています。

Aさんの水分不足についてはいつでも水分を手にとれるようご家族に協力を依頼し、介護スタッフにはサービス利用中も水分摂取を促してもらいました。

また、サービス利用中はAさんの様子を直接確認したり、スタッフから定期的に報告を受けたりしました。その内容をご家族にお伝えする中で私たちケアマネジャーとご家族が話す機会が増え、Aさんご本人との会話、Aさんとご家族の会話も次第に増えていきました。

これらの変化から、もともと家族の関係性は悪くなかったものの、介護や認知症に関する知識や情報がご家族に不足していたことで、Aさんとの関わり方が分からなかったのではないかと推測されました。

今回、Aさんとご家族との関係性が改善できたことが何よりも大きな成果となりました。そして1人の人として心、身体、環境など総合的に理解し、関わることの大切さを学ばせていただきました。今後もケアマネジメントを通して、ご本人もご家族も笑顔になる支援につなげていきたいと思えます。



Profile 居宅介護支援事業所

(坂井・大野・羽水・丹南・敦賀・小浜)

代表 県民せいきょう 福祉事業部

受付時間/
月～金 9:00～17:00(祝日含む)
TEL.0776-52-8466

高齢者介護
きらめき



ホームページ